



みなみ風

学校教育目標 人間力を高め、未来にはばたく児童生徒の育成

合言葉 私たちの最上位目標は、子どもの幸せ

学園だより 令和4年11月22日 第24号 みなみ学園義務教育学校

11/8 (火) 5年生が日産自動車いわき工場と五浦美術館へ



小春日和のこの日、5年生を乗せたバスは、紅葉が美しい山々を眺めながら、高速道路をいわき方面へ向かいました。始めに向かったのは、「日産自動車いわき工場」です。建物の中に入ると、そこには、スカイラインGTRや電気自動車「リーフ」などが展示されていて、それはそれはかっこよかったです。いわき工場では、車のエンジンを作っています。子どもたちは、手袋をはめ、一人一人トランシーバーを付けて工場内に入り、エンジンができるまでの説明を見聞きました。また、展示されている車に乗ることができるので、子どもたちは大喜び！見学に来られてよかったです。次に向かったのは、北茨城市にある「天心記念五浦美術館」です。岡倉天心をはじめ、茨城にゆかりがある画家の方々などの名画を堪能することができました。芸術の秋にふさわしい体験になりました。

11/10 (木) 友部高校や市内特別支援学校、中学校などの先生方に授業を見ていただきました



今年度、本校では、子どもたちの学力向上を目指し、研究テーマを「ICTとこれまでの教育実践のベストミックスによる授業改善」として研修を積み重ねてきました。その成果を、友部高校や市内特別支援学校、中学校などの先生方に見ていただきました。「中学生が、ここまでICTをできていると知り、高校としても、うまくつながるようにがんばりたい。」「素晴らしい授業。また参観したい。」などというご意見をいただきました。これを励みに、さらに授業力を向上させていきたいと思っています。

11/18 精一杯の走りに感動 ～前期課程持久走大会から～

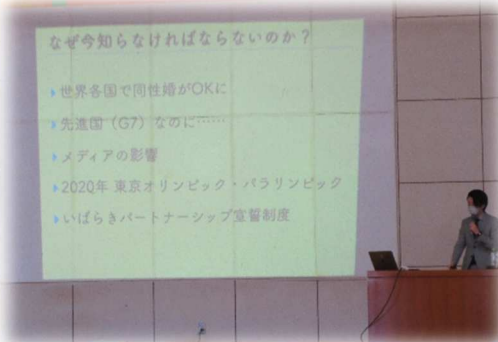
開会式で私は、「走ることが得意な人も、そうでない人も、今日がんばることは同じ、たったひとつのゴールを目指して、精一杯走る事です。そして、ゴールしたら、がんばった自分を褒めましょう。」という話を子どもたちにしました。快晴の空のもと、子どもたちの精一杯の走りは、実に素晴らしかったです。また一つ、子どもたちの成長した姿を見ることができました。

入賞おめでとう！



後期課程生ですが、1月15日(日)に芸術の森公園周辺で行われる県下中学校交歓笠間駅伝大会参加に向けて、11月から部活動合同練習に取り組んでいます。男女各1チームずつが参加し、子どもたちが力の限りを尽くして躍動するこの大会も、とても楽しみです。

11/18(金) 第2回家庭教育学級及び学校保健安全委員会講演会が開催されました



水戸市出身で、現在、水戸市市議会議員である滑川友理さんを講師にお迎えし、第2回家庭教育学級及び学校保健安全委員会講演会が開催されました。滑川先生は、LGBTを含むすべての人が暮らしやすい地域を目指し、2017年に茨城県初のNPO法人セクシャルマイノリティ団体である「RAINBOW 茨城」を設立し、県内の教育委員会や自治体等で多数の講演を行っています。この日は、保護者とともに、後期課程生徒全員で講演会に参加しました。講演会のテーマは、「今、知らなきゃいけないLGBT～今日からあたりまえが変わる～」。

正直、講演会が始まる前の子どもたちの表情は、どことなく硬かったように感じました。なんとなくは知っている「LGBT」や「性的マイノリティ」などという言葉に、どう正対したらいいか・・・。そんな子どもたちの思いを感じました。ですが、滑川先生が、大人に反発しながら強く生きてきたこと、今でも続けている介護職で初めて目の前で人が死ぬ場面に遭遇したこと、親友の死などの話を紹介していくと、子どもたちは、熱い講演にすっかり引き込まれていきました。LGBTの意味、セクシャリティーを自分自身で考えるチャート、SOGI ハラスメント(性的指向や性自認に関連した差別的な言動や嘲笑、いじめや暴力などの精神的・肉体的な嫌がらせを行うこと)、絶対にやってはいけないアウティングなど、実に多くのことを学ぶことができました。私は、今回の講演を聴いて、「まさに、命の授業だな。」と感じました。一人一人が大切にされ、自分らしく生きていくことができる社会をつくっていくことを、自分事として考え、共有できたと思いました。参加して下さった保護者の方からも、「素晴らしい講演会でした。多くの皆さんに呼びかけて、もっとたくさんの方に講演をきいてもらえるようにしたいですね。」と声をかけていただき、とてもうれしかったです。(文責:野尻)